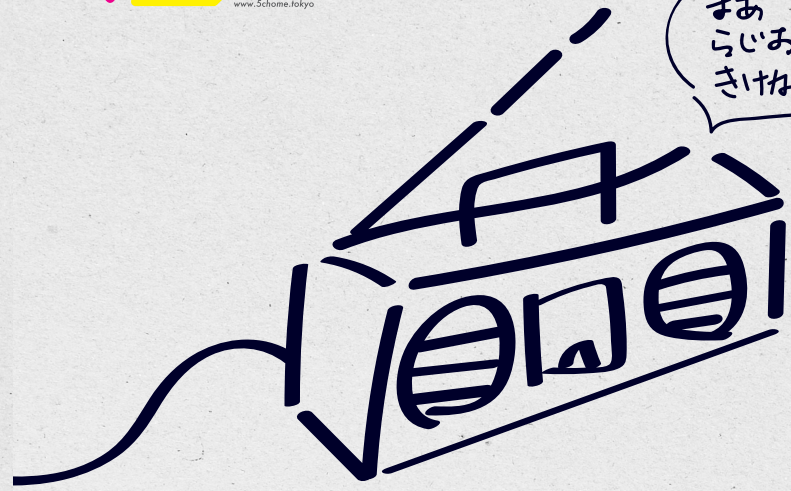


まあ
らいおじや
さけないけどね



なにもしたくないときに。

「キウイとパイアヤ、マンゴーズ」「滞空時間 TAIKUJ JIKANG」「ハッシー&theアラビアンナイターズ」「むゆうじゅ」で活動する音楽家、バイオリン・シタール奏者のGO ARAI(あらい・ごう)をメインパーソナリティに、デザイナー(のような仕事をしている)上妻(あがつま)がアシスタントを務める、ラジオ好きによる(ラジオごっこ的な)プログラムです。無駄話のほか、1990年4月からのBURRN!を読みながら、ハードロックやヘヴィメタルのCDを自腹で購入し、鑑賞したりしています。お悩み相談にも随時イリュージョン(©立川談志)中!
なにもしたいことのないときに、お部屋のあっちのほうでながれてるとか用の、不思議なポッドキャストです。

あらいごう・あがつまひろしの

五丁目ラジオ

<http://www.5chome.tokyo>



公式ウェブサイト

五丁目新聞



SASA NO SASA YAKI

五丁目ラジオ
アドバイザー
近松佐左衛門

『アナログ・レコードで聴くブルース名盤50選』から始まる旅

この本『アナログ・レコードで聴くブルース名盤 50選』(スペースシャワーネットワーク、二〇一七)の中で紹介されている50枚のオリジナル盤レコードは視覚的にも濃厚なものばかりだ。1枚目のマディ・ウォーターズと2枚目のライトニン・ホプキンスでいきなりノックアウトされたしまった人は、6枚目のサニー・ボーイ・ウィリアムソンで更なるショックを受けるだろう。しかし、23枚目にはブルースの深淵そのものが待ち受けている。ちなみに2枚目のライトニン・ホプキンス『モジョ・ハンド』米オリジナル盤を新宿ディस्कユニオンで7月に見たが、28万円という値付けに盤をめくる手が一瞬震えてしまったことを告白しておく。

ブルースは声であり語りである。

発行日
2018年(平成30年)
11月20日

リブロス株式会社
さいたま市を中心にITを駆使して企業内での困りごとを皆さまで一緒に解決するお手伝いをします。
<http://livross.jp>

ライトニン・ホプキンスが口を開くだけで、その場の空気はミック坊やキース坊やたちが怯えるほど悪魔的なものになる。39枚目のミッシェル・ジョン・ハートがうたい出せば、ほのぼのとした穏やかな春の温かさにまわりがつつまれていくようだ。

ブルースは多様である。

43枚目のロバート・ピート・ウィリアムズはブルースの形式に全くとらわれていない。まさにブルース界の山頭火である。44枚目のJ.B.ルノアール『アラバマ・ブルース』は、1966年にヨーロッパでしか発売されなかったこのレコードのタイトル曲だが、人種差別への静かで深い悲しみや怒りが半世紀のちの現在でも心を打つ。本書で紹介されているアナログ・レコードを少しずつ手に入れてレコードジャケットを眺めながら聴いていく中で、自分自身が思い込んでいたよりもブルースはもっと深く広いものであることがわかってきた。

オリジナル盤にはとても手が出せないが、日本盤や再発盤を少しずつ手に入れながらこれからもブルースへの旅を続けて行くことと思う。



云かんぬん

五丁目ラジオ
パーソナリティー
あらいごう

このあいだ10月に韓国の全州というところに、ツアーでいきました。なにやいたくさんの国のコミュニティセンターが集まっています。



ムロツシ、フランス、ポーランド、インドネシア、アフガニスタン、トルコ、などのひとたちのえんそうをきいたん、ごはんをたべたりしました。ホテルの近じまをあるけばおかしがらのいちばがずいっとあります。インスルバエのカネセあります。いちばは、道ばたに、やさいがさかながゴロゴロしています。おばちゃんがあつていいます。みんたなパニチパーマです。セブンイレブンのギンパ(韓国風)は開けると切れてて



顔人劇場

五丁目ラジオ
顧問・教頭
二松亭牛志楼

はじめまして。二松亭牛志楼(にしようてい・ぎゆうしろう)と申します。普段はさいたま市内にある私立高校で教頭をしています。まずは何かからお話ししましょうか。やっぱり、なぜ、僕が今、原稿を書いているのかというところで、すね。これを読んでもいただいている方が「参加型のコラムなわけ？」と頭をもたげてしまうことも全くない訳ではありませんから。

「五丁目ラジオ」のアシスタントである上妻さんと仕事上でお付き合いをさせていただいており、私立学校で重要な仕事の一つに生徒募集なるものがあります。つまり「営業」です。生徒がないところで授業をしても、大きな独り言になってしまいます。大人でも勘違いされる方がたまにいらつしやるのですが、私立学校の教員は会社員、公立校は公務員です。ですから、自校の「営業」が不可欠で、そこには広告も必要です。

そうですね、上妻さんには学校の広告をお願いしているわけです。僕が「営業」の部署に配属になっ



猫沢 ロック ロール 研究所

五丁目ラジオ
アシスタント
あがつまひろし

今回は日本のバンド「LITTLE CREATURES」について書いていた訳ですが、今回から紙面が拡大しているのでも、前回の「つづく」を撤回し放送内で取り上げたので、David Lee Rothの3枚目のスタジオアルバム「A Little Ain't Enough」について補足したいと思えます。

放送内で Van Halen の「Hot For Teacher」と本作の「Hot Showtime」が似ている。さらに B.z の「ギリギリchop」と「Hot Showtime」が似ていると言及しています。ですが個人的には「Hot For Teacher」と「ギリギリchop」は(そこまで)似てないと思います。

確かに、「Hot For Teacher」も「Hot Showtime」もリズムが(速い)シャッフル。ですが、前者はアレックスらしいドラムからスタートするのに対して、後者はギターソロからスタートします。このイントロのギターソロの入り方が、いかにも、「ギリギリchop」風なのです。

ちなみに、「ギリギリchop」は B.z の10枚目のアルバム『Brotherhood』からの先行シングル。ベースはRIZLIZARDの寺沢

たのは五年前。あの頃は仕事でちらほら会話を交わす程度でした。ある時(今となっては思い出しませせんが)、Deep Purple が、Led Zeppelin あたりの話で盛り上がり、互いにハードロック好きであることが判明し、意気投合となったわけですね。

年齢差?のためか、双方のハードロックへの入り口だったり、高校生の時に夢中になって聞いている(私は RON MARDEN。初めて小遣いで買ったライブも中野サンブラザでメイデンでした)。バンドは微妙に異なっていました。Mr. Big に関しては「新譜聞きました?」と会話に花が咲く一方、ドラマー PAT TORPEY の逝去の報に共に愕然としました。

「ハードロック好きに悪い人はいない」と訳の分からない(笑)論を述べる上妻さんに疑問を持ち



第6回 みずもと奇席

2018年も残り僅かとなり、12月16日は最終回です。今年最後の「みずもと奇席」で、皆様のご意見をよりお伺い申し上げます。



▲今回は2018年12月16日(日)、次々回は4月を予定

ながら、プライベートでもお仕事ををお願いするようになりました。「ズブズブな関係?」そこは大丈夫!と胸を張りたいです。プライベートでのお仕事というのは、落語に関する事です。大学時代、落研に所属していた僕は仕事の合間に現在でも落語をやっています。月に二、三回、大学時代の落研の仲間と奇席を開いたり、社会人落語家(これについてはまた今度。今度はあるのか?)の会に招かれました、自分で会を催したいです。

この自分で催す会というのが「みずもと奇席」。僕の地元である葛飾区水元(水元公園はご存知でしょうか)で二〇一七年の四月より年に三、四回開催しています。「みずもと奇席」のフライヤーのデザインを第一回から上妻さんにお願いしています。

ロックが縁となり、落語のフライヤー、そしてコラムまで書かせていただいで、「ハードロック好きに悪い人はいない」と今となってはこの論に激しく、ヘッドバンキングをしています。

を重視している楽曲が並んでいるので、「そんな埃っぽいブギーをダイアモンド・デイブにみんなが求めていくだろうか?」とそこは別に気にしなくても良いんじゃないかと思えます。ZZTOP だった超本格的なブギーではなく、ポツポツなブギーなので、これで注文がつくのであれば ZZTOP のエリミネーターなどはいくらでも難癖つけられそうなきがします。

そういうわけなので、あらいさんが言うように、地下でやらない「踊れる」パーティにもついで、エンターテイメント性を重視したアルバムであるということに踏まえると、B!誌増田さんがいうような「感情移入出来る類の音楽」ではなく、パーティを盛り上げてくれる「B!」の音楽であることが何より重要ではないかなあ、と思います。あがつまの今年度暫定ナンバーワンのアルバムなのです。



①A Little Ain't Enough ②Shoot It ③Lady Luck ④ Hammerhead Shark ⑤Tell the Truth ⑥Baby's on Fire ⑦40 Below ⑧Sensible Shoes ⑨Last Call ⑩The Dogtown Shuffle ⑪It's Showtime! ⑫Drop in the Bucket

駅から徒歩3分。整体師歴18年、朝霞台で12年!

らくらく整体院

- 【らくらく整体】5,400円(45分) 【頭スッキリ】2,150円(20分)
- 【O脚・X脚改善】6,500円(45分) 【股関節バランス】3,250円(30分)
- 【輪郭補正】6,500円(45分) 【ピンポイント】1,100円(10分)

【予約制】TEL:048-474-2877

〒351-0034 埼玉県朝霞市西原 1-7-13 ベルハイム 102
【URL】 <https://raku-raku-seitai.com/nwp/>



ウェブサイト



※料金は税込

広告を募集しています。

五丁目新聞・五丁目ラジオで、あなたのお店や会社、各種出版・発行物、イベント・講演会等をPRしませんか。五丁目新聞は年4回発行を予定しています。発行部数は毎号300~500部程度です。お申し込み・お問い合わせはメールアドレス: info@5chome.tokyoまで。その他詳細は営業担当者(新井・上妻)まで。

全1段 天地 44mm×左右 132mm

天地 44mm×左右 66mm 半1段

■記事下広告のサイズ・掲載料

	サイズ (天地×左右)	掲載料金 (税抜き)
全1段	44×132	3,000円
半1段	44×66	1,500円
全2段	94×132	6,000円
半2段	94×66	3,000円
全4段	194×132	12,000円